

2026 年度委託研究費[直接経費]収支簿

契約番号	〇-〇-26
課題	スマート防災ネットワークの構築
サブ課題	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
研究開発テーマ	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
研究題目	〇〇に関する研究開発
研究担当者名	〇〇 〇〇〇
経理担当者の研究機関・所属部署・職名・氏名	〇〇大学 財務部 主任 〇〇 〇〇

「物品費」「その他(消費税相当額等を除く)」は必ず検収年月日欄に記載してください。

直接経費の額のみ記入してください。

提出する証拠書類にも伝票番号を記入し、照合ができるようにしてください。

「課税区分」欄は、消費税等が通常の10%課税となる調達以外は、必ず「課税対象外」もしくは「軽減税率」のいずれかをプルダウンで選択してください。

入出金年月日	検収年月日	摘要	収入	支出	残 額	支 出				備 考				
						物品費	旅 費	人件費・謝金	その他	伝票番号	支払先	その他	課税区分	
2026/05/20		研究費受入(第1四半期分)	7,600,000	0	7,600,000									
2026/06/03	2026/05/15	〇▽〇▽装置一式(株△〇製ABC-12345)・××データ分析/解析用		7,500,000	100,000						株)△〇			
2026/07/21		研究費受入(第2四半期分)	7,600,000	0	7,700,000									
2026/07/21	2026/06/30	〇〇会議費(ペットボトル水)		2,000	7,698,000						炎太郎△△商店			
2026/08/10		〇▽大学(東京) SIPO研究会議(7/10~7/12)(防災太郎)		150,000	7,548,000		150,000			B0002	防災太郎			
2026/08/15	2026/07/20	〇×〇×調査業務外注							5,440,000	D0003	×〇(株)			
2026/10/20		研究費受入(第3四半期分)												
2026/11/18	2026/10/10	□××□装置 TR-100A(株△〇△製一式)								A0004	××機器(株)			
2026/12/22	2026/11/30	〇×学会雑誌論文投稿料(防災太郎)		100,000	1,508,000				100,000	D0005	防災太郎			
2027/01/20		研究費受入(第4四半期分)	7,600,000	0	9,108,000									
2027/01/20	2026/12/05	〇〇〇〇装置 AS-5(株△△製一式)		6,824,000	2,284,000		6,824,000			A0006	(株)△△			
2027/02/20	2027/01/31	△△検査業務(株〇〇)		2,000,000	284,000					D0007	(株)〇〇			
2027/02/20	2027/02/01	□□会議 会場借料(2/1 □□会館(大阪))		130,000	154,000				130,000	D0008	□□会館			
2027/03/21		□□会議 講演招へい謝金(2/1 大阪)(外部三郎)		20,000	134,000			20,000		C0009	外部三郎			
2027/03/21		〇〇大学(京都)××実験打合せ(3/1)(防災太郎)						35,000		B0010	防災太郎			
2027/04/25		給与(3月分3/10~4/9のうち3/10~3/31分)(防災次郎)						150,003		C0011	防災次郎			
2027/05/15		社会保険料等事業主負担分(3月分3/10~4/9のうち3/10~3/31分)(防災次郎)		21,110	-72,113			21,110		C0012	××年金事務所・〇〇労働局等			
2027/05/15		通勤手当(3月分3/10~4/9のうち3/10~3/31分)												
2027/05/15		不課税取引等に係る消費税相当額												
2027/05/15		軽減税率差額												
2027/05		課税区分が異なる支出は行を分けて記載してください。												
2027/05		影響額-経過措置の適用:無												
2027/05		影響額-経過措置の適用:有												
計														

物品費
品名(具体的な名称)、数量、本研究における用途がわかるように記載してください。
また、50万円を超える物品の場合は、メーカー名・型番も記載してください。

旅費
旅行者名、旅行内容(打合せ・会議名など)、用務地(目的)、旅行期間がわかるように記載してください。

人件費・謝金
支給対象者、対象期間等がわかるように記載してください。

立替払を行った場合は「支払先」欄には「立替者の名前(立替者が支払った実際の支払先)」を記載してください。

免税事業者との取引である旨及び経過措置の適用の有無を記載してください。

免税事業者取引(経過措置:有)
免税事業者取引(経過措置:無)

支払先に複数の機関が含まれる場合は、代表的な機関(1つ以上の機関名)に等を付してまとめた記載でも可とします。

【不課税取引等に係る消費税相当額】課税対象外の支出があった場合には、この品目名により計上してください。計上金額は原則として「課税対象外金額×0.1」となります。
【軽減税率差額】軽減税率が適用される支出があった場合には、この品目名により計上してください。計上金額は原則として「軽減税率適用金額×2/108」となります。
【インボイス影響額-経過措置の適用:無】インボイス制度開始に伴い仕入税額控除が行えなくなることにより生じる経費のうち経過措置の対象外となる支出があった場合にはこの品目名により計上してください。計上金額は原則として「対象の支出額(税込み)×0.1」となります。
【インボイス影響額-経過措置の適用:有】インボイス制度開始に伴い仕入税額控除が行えなくなることにより生じる経費のうち経過措置の対象となる支出があった場合にはこの品目名により計上してください。仕入税額とみなして控除が可能な額は、
令和5年10月1日~令和8年9月30日 : 仕入れ税額相当額の80%
令和8年10月1日~令和11年9月30日 : 仕入れ税額相当額の50%
となります。

※直接経費に係る収入および支出の内容をご記入ください。
※契約番号、サブ課題、研究開発テーマ及び研究題目は 契約書
※1枚目の水色セル部分(支出、残高、計)には保護がかかっています。